

会議名	第 10 回杉並区立永福南小学校・永福小学校統合協議会
日 時	平成 23 年 5 月 17 日（火）午前 10 時～午前 11 時 40 分
場 所	永福南小学校 視聴覚室
出席者	統合協議会委員 21 名（欠席 2 名）
傍聴者	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会あいさつ 2 新委員の紹介 3 事務局職員の紹介 4 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1)23 年度統合協議会の進め方 (2)統合校の教育目標案について (3)23 年度両校の交流について (4)既存校舎の改修スケジュールについて
資 料	資料 1 23 年度統合協議会委員名簿 資料 2 永福南小学校・永福小学校統合に向けてのスケジュール案 資料 3 教育目標について(案) 資料 4 23 年度両校の交流予定 資料 5 永福小学校既存校舎改修予定項目一覧

1 あいさつ

会長	<p>おはようございます。お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>23 年度になって初めての統合協議会ですが、第 10 回目の統合協議会になります。どうぞ本日もよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、年度が替わり委員の変更もありましたので、新しい委員のご紹介をさせていただきます。</p> <p>新委員の方、自己紹介をお願いします。</p>
	新委員自己紹介（4 名）
会長	<p>4 名の委員の変更がありまして、総勢 23 名で 23 年度をスタートさせていただきます。よろしく願いします。</p> <p>それでは、事務局にも職員の変更がありましたのでご紹介をしていただきたいと思います。</p>
学校適正配置	皆さん、おはようございます。4 月に学校適正配置担当課長になりました幸

担当課長	<p>内です。昨年5月からこの統合協議会で新しい学校づくりに向けていろいろ協議をいただきまして、今年の夏休みからいよいよ校舎の改修、体育館の改築に入っていきます。今後、この協議会ではどちらかという教育目標等のソフト面を協議いただくこととなりますけれども、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>3月11日の大震災の関係で、東北に集中している建築資材が東京などの大都市では不足している状況ですが、今回の改築については今のところそういった影響もなく、予定どおり進んでいます。</p> <p>それでは、改めまして職員を紹介させていただきたいと思います。</p>
事務局自己紹介	
会長	<p>それでは、本日の議題に入ります前に、渡辺教育改革担当部長からごあいさつをいただければと思います。</p>
教育改革担当部長	<p>皆さん、おはようございます。</p> <p>先ほど会長からお話がありましたように今日で10回目になります。振り返れば去年5月27日が第1回目でした。去年は学校の施設を見学したり、議論をしたりして改築設計計画がまとまりました。</p> <p>いよいよこれからプールや体育館の解体工事が本格的に始まりますけれども、いずれにしましても25年4月が新しい学校の開校になりますので地域の皆さん方が誇り、自慢できる学校をつくっていききたいと思います。また今年1年間よろしくお願ひします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは議題に入ります。</p> <p>(資料確認)</p> <p>本日は4つ議題を予定していますのでよろしくお願ひします。</p> <p>議題の順番を若干変更させていただきます。(3)「23年度両校の交流について」は、双方の学校の主幹教諭が行います。主幹教諭2名はこの後に授業が入っておりまして、先にこちらについて討議していききたいと思います。</p>

2 両校の交流について

永福小学校主幹教諭	<p>永福南小と永福小の学校間の交流状況についてのご報告と、これからこのように進めていくという説明をさせていただきます。資料4をお開けください。順番に説明していきます。</p> <p>まず教員の交流についてです。4月1日に今年度第1回目の交流会を行いました。今年度は遠足等も一緒に行うということもあり、顔合わせを含め、今年度両校が統合に向けて歩調を合わせて進めていこうということで共通理解をしました。</p>
-----------	--

	<p>2回目と3回目の交流会は夏休みに2回予定しています。7月22日に永福南小、8月31日は永福小で行います。</p> <p>2回目の内容は、2学期の体育授業についてです。第3回目は、児童の様子や新たな課題点、今後の予定について検討していきます。一応この3回を予定していますが、第3回目の内容によっては4回目、5回目の実施も考えられます。学年同士の打ち合わせは適宜行っていきたいと考えています。</p> <p>次に体育の交流学习についてです。まず一つ目はプールの使用です。体育館やプールの改築に伴い、夏休み期間中にプールを使用することができません。そこで永福南小学校にお願いし、夏季水泳指導を永福南小学校のプールで合同実施する方向で昨年度に話がまとまっています。</p> <p>期間としましては7月25日から8月5日の前期、8月24日から8月26日が後期で、計10日間を考えています。水泳の級、入水の仕方から出るまでの基本的なところを共通理解した上で統一した指導を行っていきたいと思います。子どもの安全が第一ですので、教員同士の打ち合わせを綿密に進めていかなければいけないと考えています。</p> <p>2、3学期は体育の指導、体育館の使用を合同で行っていきます。永福南小の運動会や展覧会、また卒業式の練習等の時期を除いて、それ以外の時期は、学年交流をしながら火、木、金曜日に体育の授業を進める予定です。</p> <p>永福小から学年合同3学級で永福南小に移動して、2校時分をお借りし、1校時を2学級ずつ使用するという考えています。</p> <p>例えば火曜日の1・2校時は、永福小の2年生が、朝の健康状態を確認した後に永福南小へ移動し、1校時目は1、2組が体育館を使って体育を行います。3組は他の教室で授業を行います。2校時目は、体育館を使用しなかった3組と永福南小の2年生が合同で授業を行います。組み合わせや、どちらの教員がリーダーシップをとっていくのかということについてはローテーションをしながら進めていこうと考えています。内容は、体育館の使用ができるものを第1に考えています。</p> <p>最後にその他の交流学习についてです。遠足、移動教室を合同で行っていきます。学年の実施日及び場所につきましては資料記載のとおりです。</p> <p>ただ単に一緒に行ってお弁当を食べるだけでなく、その場で交流ができるような活動に各学年で工夫して取り組み、少しでも早く友達を増やしながらか統合に向けてスムーズな移行ができるようにしたいと考えています。</p>
会長	それ以降についてはよろしいですか。では、続けてお願いします。
永福南小学校 主幹教諭	受け入れ側としましては、永福小の子どもたち用に2教室を確保し、机や椅子、更衣室についてはカーテンの配置についても手はずを整えています。

	<p>それから、実際に校舎を使っていく上で安全上の問題が出てくると思います。永福南小の校舎は吹き抜けなどがありますので、特に注意してどういう形で指導していったらいいのかということ、細かく打ち合わせしていきたいと思います。</p>
会長	<p>今、両校の主幹教諭から説明がありましたけれども、何かご質問等がありますか。(なし)下校の方法についても説明願います。</p>
永福小学校主幹教諭	<p>1～2校時を使う低学年の場合は、中休みを使って永福小に帰ります。5～6校時を使う4、5、6年は、昼休みに永福南小に移動します。下校時には6校時が終わって1度永福小に戻るとかなりタイムロスがあります。そこで永福1丁目や向陽中方面の子どもたちについては永福南小から直接下校させたいと思います。永福小方面に帰る子どもたちについては教員が引率をして、途中通学路に入ったら帰ってもいいという形にしていきます。向陽中方面などは教員が多数ついていますので、何人かは方面別に引率して帰るといった安全対策も組みたいと思います。</p>
会長	<p>永福小から永福南小へのルートを説明いただけますか。</p>
永福小学校副校長	<p>本校から永福中央公園まで下りて、そこで横断歩道を渡ります。永福中央公園を突っ切って、神田川沿いを通行し、橋のコンビニのところの信号を一つ渡って永福南小学校に至るといったルートを考えています。</p> <p>帰りも同じルートで戻ります。永福稲荷神社方面に帰る子どももいますので、途中から本校の通学路に入って下校するという方法をとりたいと思います。</p> <p>また交通安全指導員につきましては担当部署と詰める予定になっています。</p>
会長	<p>永福南小と交流するときの行きルート、下校ルートあるいは内容についての説明をいただきましたが、何かご質問等がありますか。</p> <p>それでは、このように実施状況とか今後の変更点等があった場合には統合協議会の中で交流活動や教育活動の進め方についてのご報告を随時していただく予定にしています。</p> <p>また、いろいろ質問がありましたら、統合協議会時に出していただければ、そのことについて検討や説明をさせていただく予定にしています。</p> <p>それでは、他の議題に移ります。</p> <p>(1)23年度統合協議会の進め方について、事務局からよろしいですか。</p>

3 統合協議会の進め方

学校適正配置 担当係長	<p>資料2をごらんいただけますでしょうか。</p> <p>23・24年度の月別に統合協議会の大まかな実施時期と検討項目、さらに改</p>
----------------	---

	<p>築・改修工事の内容も含めて一覧表にしました。</p> <p>統合協議会は、おおむね2カ月に1回程度の割で進めていく形で予定しています。必要があれば時期をずらしたり、回数をふやしたりということは当然可能です。</p> <p>統合協議会の検討項目については、今日第10回と第11回で統合校の教育目標についてお話しいただきます。12回目以降は統合校の校名・校歌・校章、どういう考え方でいくのかというようなお話し合いをさせていただきたいと考えています。</p> <p>また統合校の通学路についても今年のうちにある程度固めておいた方がよいと思います。必要に応じてガードレールの増設などの必要性も出てくるかもしれません。</p> <p>また、校歌・校章に関しては選定等の具体的な作業にある程度時間がかかるということも想定されます。ですから、その時間もある程度視野に入れて考えなければいけないと思います。</p> <p>改築・改修工事についてです。先ほども説明がありましたように、7月に1学期が終わりましたら永福小の既存プールと体育館の解体工事が始まります。解体工事が約2カ月弱、続いて新プール・体育館棟の改築工事が始まります。竣工は24年12月です。24年度には、校名等の関係で区議会第2回定例会で学校設置条例の改正が必要になる場合があります。</p> <p>既存校舎の改修についてです。両校とも4月から7月11日まで、これは特に統合に関してということではなく、全部の公立小中学校でエアコンの設置工事が現在進んでいるところです。</p> <p>23年度の8月の夏休みには、昇降口の改修工事が予定されています。改修等につきましては細かい実施項目があります。後ほどまた説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>24年度は統合に向けたセレモニーやメモリアル事業をどうするかということも当然議題に上がってこようかと思います。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>スケジュール案について2年間分の見通しということでご説明いただきましたが、いかがでしょうか。何かご意見はありますか。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいですか。(なし)</p> <p>ある程度このスケジュールに基づきながら進めていきます。学校支援本部やPTAの代表の方など、それぞれのセクションで、話をさせていただいて、統合協議会のときに意見を出していただければと思います。</p> <p>統合校の通学路についてですが、学区そのものは現在の永福小学の学区と永福南小学校の学区が一緒になった学区という形で変更ありません。</p>

	<p>双方の学校でP T Aの地区委員の方がいらっしゃると思いますので、連携をとっていただいて、こういう通学路がいいんじゃないかとか、ここを通るときにここの部分が危ない、例えばガードレールがないので危ない、あるいはカーブミラーがないので危ないとか、いろんなことがあると思います。その辺も話し合いを進めて今年度中にある程度通学路を決めていければと思います。</p> <p>もちろん学校側の生活指導担当もある部分では関りながら進めさせていただきたいと思います。最初は地区委員の方々あるいはP T Aの皆さん方の目で見通学路等を検討していただければと思います。そういう方向でよろしいでしょうか。(異議なし)</p>
学校適正配置 担当係長	<p>通学路に関しては教育委員会の所管の学務課からもメンバーを出してもらい、何回か実際に候補路を歩いてみて問題の洗い出しをしていく形になるのかなと思います。</p> <p>具体的な方法につきましては、後日またこちらのほうから提案させていただきたいと思います。</p>

4 統合校の教育目標案について

会長	<p>進め方についてはこれでよろしいですか。あとその他の資料(4)でお話をさせていただければよろしいでしょうか。(異議なし)</p> <p>それでは(2)統合校の教育目標案についてです。資料3をご覧ください。統合した場合に新たな教育目標を策定していきます。教育目標の考え方について、双方の校長で話し合いました。</p> <p>その中で、誰にでもわかりやすく覚えやすいもの 子どもたちの実態に合って今後身につけることが極めて重要だと考えられる2点を基本的な考え方としました。教育目標としては『目指す子ども像』を具体的に描いていくということになります。</p> <p>教育目標は、「こういうことをやるんだ、僕たちはこういうふうになっていくんだ、教師としてこういう指導をしていかなければいけないんだ」ということが非常にわかりやすいものでなければいけないだろうというスタンスに立って考えました。</p> <p>そこで、『やさしさ』を一つのキーワードにしていきたいと考えています。その根拠は、前回協議会の委員の皆さんにどういう子どもたちになってほしいか、あるいはどういう部分が足りないのかという話をいろいろ出していた中で、心の部分が一番重要だという意見が多数出されたからです。</p> <p>もちろん学力とか体力もあるわけですが、やはりこれからの子どもたちは「こういうやさしさを持っている子はあの学校の子だ」というように徹底した</p>
----	---

心のやさしさや健全さを身につけていくことが必要だろうという話に至りました。

具体的にどんな内容なのかということで、「志高」,「人にやさしさ」,「やさしさ」,「ともに」,「やさしさ、たくましさ、かしこさ」という幾つかのフレーズやリズムを考えて、私たちがこういう子になってほしいというようなものを考えていきたいと思います。繰り返しになりますけれども、やはりキーワードは『やさしさ』ですから、心に着目した部分という方向で考えていこうと思います。

例えば本校でいえば今の教育目標は60年前に作られたもので、それが永遠につながって行って、そのときと時代が違うのになぜまだこの教育目標なのかということもあります。教育目標は時代や子どもたちの状況が変わってきたときには、ある程度変えていくことも必要だろうということです。毎年変えることはあり得ないと考えますけれども、ある部分で見直しをしていくことは必要だろうと考えています。

そこで非常に大きな目標として、「こういう子どもに育ててほしいんだ」というものが具体的になってきます。やさしさの例として、やさしさの中に人にやさしく自分に厳しい態度、あるいは人の話をきちんと聞くことができる子どもであったり、自分で考えてみずから解決していく子であったり、賢さを持つ子どもであったりというような、やさしさの中に求める目指す子ども像があると思います。そして教育課程をつくっていく上での重点になっていきます。

具体的に目指す子ども像にしていくために、学習面では、生活面では、特別活動面では、特色ある教育活動では、体力面ではというような流れはつくっていく必要があるだろうと考えています。

あくまでもこれから考えていく考え方の基になるものを皆さん方にお示しして、こういうものも加えてほしい、こういうことも必要なんじゃないかというご意見をいただきます。それを持ち帰り双方の校長で話をして、また提案させていただくというような手順で進めていきます。

教育目標は子どもたちの目指す姿を求めるものですので、ぜひ皆さん方からいろいろ自由なご意見をいただいて、これから考えていく参考にさせていただければと思います。

いまご提案をさせていただきましたけれども、その中でわからないところがありましたらお出しください。具体的にこういう子どもの姿とか、こういうことを目指してほしいとか、学校ではこういう子どもをつくってほしいんだというような保護者の立場、地域の立場、いろいろな立場でごらんになられていると思いますので、その辺を出していただければ今後考えていく参考になると思

	います。
委員	<p>学校支援本部で子どもたちと接しているときに、私が思っていることをお話させていただきます。</p> <p>人にやさしくというのは人ばかりではなくて、物に対してもやさしくあってほしいと思います。物にも命あるものと命ないものがありますけれども。</p> <p>それから、厳しくと言われるんですけども、今、世間は子どもたちにすごく厳しいと思います。子どもたちへの要求も高く、自分もそれに応えなければいけないということで、子どもたち自身がすごく厳しい気持ちを持っていて、自分のことを立派だと思えなくなっていると思います。</p> <p>今の世の中は、いたずらをしたって何をしたって、やっぱりそれが子どもんじゃないかとは思わなくなっています。私としては厳しくということではなくて生きる力を身につけてほしいです。生きる力には技もあるでしょうし、知恵もあるでしょう。厳しくなくていいから、生きる力を持って生きていって欲しいです。</p> <p>それから、教師が忘れてはいけないのは、学校は学舎（まなびや）で、学生の本分は勉強、学力ということです。小学校で基礎知識をしっかりつけていれば、親とか周りとか、いろんなことがあったとしても、環境がどうであろうと自分はそこから脱出することもできるし、自分がこうなりたいと思ったときに必要なのは基本的な学力、それはやはり小学校の学力だと思います。</p> <p>中学校に行っても小学校の学力があればどんどん自分でやっていけると思うので、この三つは大切だと思いながらいつも子どもたちに接しています。</p>
委員	<p>今のお話はごもっともだなと、我が子を思いながら聞かせていただきました。生きる力を育てるというのは言葉で言うと簡単ですけども、すごく難しいことだと日々子どもを目の前にしながら思います。</p> <p>やさしくなってほしいといつも思うけれども、やさしくするにはやさしさだけじゃだめで、厳しさも大切だと思います。でも厳しさが度を越してしまうと子どものやさしさをつぶしてしまうこともあるし、かといって「何でもいいよ」では違うということをすごく身にしみて感じています。</p> <p>うちは（子どもが）3人いるので、その世代、世代で保護者同士のかかわりもすごくあります。保護者同士の認識がそれぞれ違うときびしさの度合いも違ったりして、その裏にあるやさしさがどういうふうに育っていくのかというのはすごく差があると感じます。保護者の世代もいろいろになってきている現代なので、その差がなるべく縮まってくれたらみんなが求める子どもになるんじゃないかとも思います。そこのギャップに悩みつつ、日々努力しているところです。</p>

委員	<p>日ごろ感じていることはルールとマナー、特に公共の建物でのマナーとか道路を歩くときのマナーについてです。子どもたちがちゃんとしたルールがあるのを知っているかという、子どもたちは自分が好きなように動いていて、マナーをよく知らないと思います。その辺は日常生活の中で小学生向けの言葉で教えていただけたらいいと思います。そういうことを知っていると、生きる力にもつながっていくと思います。それもやさしさの中に入っているものの一つだと思います。どういう言葉で表現したらいいのかわからないのですけれども、規則というのではなくて、共同生活をしていく上での最低限のルール、マナーということでぜひそういうものをお願いします。</p>
会長	<p>具体的な子どもの姿の中での方策等に十分反映することができますので、あまりこだわらないで自由に言っていただければと思います。</p>
委員	<p>私もやさしさはとても大事だと思います。</p> <p>また今回の大地震を見ていまして、その前から自分の子どもに言っているのは、こういう大きな震災とか災害があったときに助けられる側じゃなくて、助ける側の人になろうとずっと言い続けて育ててきました。</p> <p>その年齢によって違うと思いますが、いろんなことがあっても、困ったときや苦しいときに人のことを考えられる子が本当のやさしい子だと思います。具体的に何をどうしたらそうなるのかはわかりませんが、東京でもいつ震災がおこるかわからない時代ですので、ぜひその辺を子どもたちに意識させて、何かあったときには「助けて」と言うのではなくて、何が自分にできるだろうと考えられる子になって欲しいと思います。</p>
委員	<p>全くそのとおりで、やさしさが非常に大事だと思います。</p> <p>一方、今回の地震で「てんでんこ」という言葉が盛んに出てきましたよね。地震があったら何を置いても、自分の命を救うというのも一つのルールということをお教える必要があるのではないかと思います。</p> <p>いろんなことをやってルールに違反したら、こういう理由でこういうルールができていいるのだから守らなければいけないというのもよく理解させ、その上でやっぱり一番大事なのはルールを守って命を救うということなのではないかと思います。</p> <p>まず生きる力、基礎知識をつけることあるいは向上心を持つことなどを加味していただけたらいいと思います。</p>
委員	<p>資料3に記載してある『具体的な児童像』というのは理想的な児童像ですね。ただ、私が育った年代と今の方たちの年代は違うので考え方も違うと思いますが、私は6人兄弟で育ちまして、ここに書かれていることは親から常に日常生活の中でずっと言われてきたことだと思います。</p>

	<p>地域で子育てと言っはいるんですけども、個々になるとなかなか難しいですね。けれども、やはり親と子どもの関わりということで、日ごろから日常的に親から家事をしながらでも言われてきたことが非常に大きいと思います。</p> <p>ですから、これは学校の教育方針の一つでしょうけれども、学校だけではなく親と子ども、それから地域の中でみんなで仲よくやっていけたらいいんじゃないかと思います。</p>
会長	<p>今のは本当にありがたいお話です。学校だけが子どもを育てていくのではなくて、地域も一緒になって育てていくことが必要だというふうに感じています。</p> <p>前回、校長会のときに教育長が『競争から協創へ』という話をしました。今までは争う競争の時代であったけれども、これからはお互いに協力し合いながらつくり上げていく協創に変わっていく必要があるんじゃないかという話をされていた中で、学校が学校だけで存在するのは限界があり、地域とか保護者の方々あるいはそこに住んでいらっしゃる皆さん方と一緒に子育てをする、教育活動を進めていくというような一つの新しいタイプの学校づくりをしていければと、いま皆さんのお話を聞きながら思いました。</p> <p>きれいな学校になって、きれいな体育館ができてというだけじゃなくて、それを一つの契機にしながら、いわゆる学校のあり方も変えていきたいと思います。というような取り組みができればいいと感じています。</p> <p>私見を言ってしまいましたけれども、ほかにいかがでしょうか。</p>
委員	<p>学校の教育目標ということで、私が今から申し上げることが果たして学校の教育目標なのかと思ったりもしますが、やっぱり家庭が一番基になると思います。</p> <p>やさしくあるためには何を身につけなければいけないんだろうとさっきからずっと思っていました。道徳心であるとか自愛の精神、卑怯を憎む心とか、そういうことを小さいときから教えるというか。昔から日本人が持っている道徳心が失われつつあると思いますが、そういう道徳心が身につけて初めて人にやさしくできるのではないかと思っました。</p>
委員	<p>キーワードの『やさしさ』はとてもいい響きです。私もそういうふうに住ってくればよかったと思っますけれども、人にやさしく自分に厳しいというのは大人でもなかなかできません。</p> <p>先ほど委員がおっしゃっていましたけれども、やさしさの基本という自然を愛する、植物を愛するというのがいいんじゃないかと私は思っます。樹木の関係者の人と一緒にハイキングに行くと、道端で踏まれている小さな花でもかわいいでしょうというようなやさしさ、そういうやさしさが自然を愛する気持</p>

	<p>ちから生まれてくるんじゃないかと思います。</p> <p>夫婦がけんかをしてうまくいなくて子どもに当たっちゃったということも意外とありますね。もういやだと、外へ出ていく子どもさんもいらっしゃいます。「ママとパパがけんかしているようだけど、どうしたの」と言ったら、「けんかをしているのはいやだから下におりてきちゃった」という話も聞きました。やりとりが大きな声で聞こえるんですよ。つい怒ってしまったり、けんかしてしまったりというのはわかりますけれども、やはり子どもの前では遠慮してもらいたいと思います。</p>
委員	<p>先週の土曜日に永南小に行きまして、ペットボトルロケット大会のお手伝いをさせていただきました。そのとき子どもたちの様子を見ていますと、最初はしっかり聞いているんですね。騒いでいた子も聞き始めていました。まず聞くということが子どもたちにとっては非常に大切ではないかと思いました。子ども自身としてはどこを聞けばこれから作ろうとするロケットができるかということに着目しているわけです。そうしたところで、なるほど、まずは聞くということが大切だと思うこと一つありました。</p> <p>もう一つの例は、東大教授で姜尚中（かん・さんじゅん）という政治学者の方がいらっしゃいますが、あの方は非常に女性にもてるそうです。低い声でゆっくりとお話しになり、しかも声が小さいと。</p> <p>私は小さいころ、家で「そんな隣の人にも聞こえるような大きな声で言うもんじゃない。家族だからもっと小さい声で話すという習慣がないと」とよく母に言われました。教養がつけばつくほど、小さい声でお話しになることが多いと思いました。</p> <p>やさしさを考えたときに、一つはやさしさの中にはしなやかさとか強さを元々キャパシティーとして持っていることが必要じゃないかと思いました。</p> <p>もう一つは、本当のやさしさは強い意思力を持って、いざというときにはきちん自分の意見を言えるということではないかと思いました。</p> <p>それから、自分の人生を振り返ってみますと、「おれが、おれが」と言っている間はやさしさは生まれなくて、人に施す気持ちができるときにやさしい気持ちが出てくるんじゃないかと思いました。</p> <p>やさしいといった場合は弱いだけではなくて、しなやかさとか強さもあります。子どもたちは友達同士でコミュニケーションをするとき、お互いを認めるという大切なものをちゃんと持っているのではないかと経験上感じています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。皆さんにいろいろな視点からお話をしていただいて、本当にありがたいと思います。ほかにどうでしょうか。新しく委員になら</p>

	れた皆さん方も遠慮されずに言っていただければと思います。
委員	<p>やさしさと思いやりは似ていると思います。</p> <p>テレビで見たのですが、震災のあった釜石市はもともと津波が予想されていて、群馬大学の教授がそれを危惧して、釜石市の生徒たちに教えていたことが三つあるということを書いていました。それは「仮定（想定）を信じるな」、「ベストを尽くせ」、「指導者（率先避難者）たれ」というような内容だったとも思います。</p> <p>みんなレベルは違うかもしれないですけども、いろんな分野での自分のベストを尽くすということと、指導者たれというのは小学生でいえば1、2、3、4年と上がっていくにつれて高学年が低学年を見ていくとかいうこととつながっていくのではないかと思います。いずれは何かあったときに自分の得意分野とか、いろんなところで何かできることはないかということが指導者たれということに結びつくのではないかと思います。</p> <p>あともう一つ、やはりテレビで放映されていたことですが、ディズニーランドの従業員はほとんどアルバイトらしいんです。ゲストの人に安全に遊んでいただくために、ディズニーランドではアルバイトの人たちも含めて日ごろから避難訓練をよく行っていたそうです。アルバイトでも従業員の方々は地震で揺れたときにクマのぬいぐるみを頭に乘せてくださいとか、ずっとしゃがんでると足がエコノミー症候群になるので運動してみましようとか、各自が自分たちで考えてゲストの人に対応したそうです。</p> <p>小学生でも人それぞれ違うことに気がつくけれども、自分が思いついてこういうことをしたらどうかと言ってあげられる発想というか、そういうところもあるといいなと。それには今まで言われていたやさしさとか思いやりの気持ちが大切だということもあります。</p>
会長	ベストを尽くせ、指導者たれと、最初に言われたのは。
委員	仮定を信じるなど。釜石市でも（津波が）ここまで来るんじゃないかと想定していましたが、それ以上に来たらしいので、それを信じずに状況判断をしてもっと上に上がって行って難を逃れた生徒が多かったと。
会長	<p>ありがとうございます。やさしさを持っていなければ、人のことを考えて行動できないということですね。</p> <p>ほかにどうでしょうか。どうぞ。</p>
委員	<p>『やさしさ』について私も考えていますが、自分に余裕がないときは多分人のことを考えられないと思います。子どもも大人もいろいろな感情がありますから、常にいい状態ではないと思います。</p> <p>けれども、もっと根本にあるのは、例えば今の子どもたちを見ていると自信</p>

	<p>のない子がすごく多いのです。いろいろなことをやってはいるんですけども、果たしてそれが何に結びつくのだろうかとか、恵まれている分、道を見失ってしまう場合も多いと思います。そこで自己肯定感と言うのでしょうか、自分に自信が持てるように育ててほしいと私は常日ごろ自分の子どもに対して思っていますが、なかなかうまくいきません。自分に自信がつくと、人のことを見る余裕も出てくると思います。</p> <p>あとは先ほどからご意見があったように、しゃべらない机とか物とか、木や花もしゃべりませんが、目に見えないものとか声を出せないものに対しても思いをはせることができるような感覚を養っていくと、道徳心が自然と身についていくのではないかと思います。</p> <p>お仏壇や神棚に手を合わせるという風習が最近あまり見られませんが、そういう大事なものは目に見えにくいですね。子どもたちがそういったことを感じとってくれればと常に思います。</p>
委員	<p>皆さんのお話を聞いていて、『やさしさ』はやはり強さがなければ出てこないんだなという気持ちになりました。人とか小さいものを守るやさしさは、自分が責任を持ってやれるような強さがないとできないと思いました。</p> <p>私も常々子どもに言っているのですが、もし自分がつらいとか重荷に感じていることがあれば、その重さをなくしてほしいと願うのではなくて、自分の背中が強くなるように祈りなさいと言っています。どうすれば自分で強くなるという前向きな気持ちを持てるような子どもになるのかはよくわからないのですが、そういうふうになってほしいと思います。</p>
会長	<p>それ（つらさや重荷）を感じない強さを持つことですね。</p>
委員	<p>やさしさというのはうちの娘に欠けていて頭が痛いです。保育園のときにそこにある聾学校で、1歳のときから6年間、1カ月に1回交流をさせていただきました。言葉でやさしさを投げかけるというよりも、子どもたちは耳の聞こえない子と会話をするわけです。どうやって会話をしているのか大人はわからないのですけれども、一緒に遊んだり、料理を作ったりといろんなことをしていく中で、言葉で教えるよりもそういうことなのかとを感じる部分がありました。</p> <p>もちろん言葉で教えていくことも学校、家庭、地域では大事なことだと思います。せっかく地域に聾学校とか永福学園がありお友達もたくさんいます。先ほど校長先生が学校だけが担うのではなくて、地域と家庭のそれぞれが一体となって新しいタイプの地域運営学校をつくっていきたいとおっしゃったので、両学校と交流をして子どもたちの中からやさしさの手ごたえを感じることができればいいと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。ほかによろしいでしょうか。(なし)</p> <p>いろいろなご意見をいただいて、皆さんの思いとか実践や経験などを出していただいて、これからの示唆になると思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>ありがとうございます。今後も末永校長と私の2人でいろいろなことを話していきます。2人ともベースが性善説で、特に古いものや論語などに対する趣向があり、そういう中で話をしています。</p> <p>どのような教育目標があるか日本中の学校を何校も調べてみました。一文のものもあれば、キーワードで表現している学校もあります。その中でも永福南小や永福小のように基本的に「知・徳・体」というパターンで表現している学校が一番多いようです。</p> <p>これまで新しい学校は一つの言葉で表現できるものにしたいという話をしてきました。例えばやさしさというと「それはあなたの学校のキーワードじゃないの」と言ってもらえるような形にしたいというのが一番の思いです。</p> <p>やさしさという言葉一つとっても、個人個人、さまざまな解釈や考え方があると思います。いろんなものを受け入れていくことも学校だと思えます。</p> <p>やさしさがキーワードになると、これまで協議会で話してきたようなことが、家庭でも地域でもたぶん色々な形で出てくるだろうと思います。そして、ではどうするかとなった時に、学校ではこうしましょう、地域ではこうしましょうという具体策ができてくるのではないかと強く感じました。</p> <p>教員はひとつの学校に10年はいられないけれども、保護者の方々や地域の方々はずっとここにいて、その思いは後世にも伝わっていくものであって、やっぱり大切にしていきたいと思えます。</p> <p>永福小学校やうちの学校でも第1期、第2期の卒業した方のお子さんが入学してくれることもあります。息子が卒業して、今度は孫がと。そういう思いがきちんと伝わっていくような、芯の通ったことをやりたいので、ゆっくりいろんなお話を伺っていききたいと思えます。</p> <p>具体的にどうするかというのはこれからで、表現も『やさしさ』なのか、『やさしい』なのか、2人で議論していますが、更に皆さんのご意見を参考に議論を深め、いろんな方向から考えていきたいと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>『やさしさ』1つキーワードでこれだけの解釈ができる、逆に言えば、たくさん解釈できるほうがいいと思います。一つの言葉でこういうふうにも解釈できる、ああいうふうにもとれると。これだけ大きなことを含んでいるんだというのはすばらしいし、その時々に応じて教えればいいということなのではないでしょうか。</p> <p>『やさしさ』なのか、『やさしい』なのかというのは、日本語の1字の違い</p>

	<p>がどういうふうに違ってくるのかはわかりませんが、その言葉によって地域が一体になって、永福小と永福南小が一緒になって新しい学校ができていいねと言っていたような取り組みができることは素晴らしいことだと思います。</p>
委員	<p>子どもが迷うといけないので、必ず学校でやっていることと同じことを家庭でしなければと思います。</p> <p>例えば、ある子がいろいろなものを壊したり、忘れ物をしたりすることがあって、親からはがんがん怒られるし、担任の先生からも「何をやっているの」と一方的に注意されてしまうということがありました。</p> <p>でもちょうど校長先生から「こういうふうにと壊れるんだよね。わかるだろう」と諭されたときに、親や先生が怒ったりするよりもそうやって許してもらえたことが「何ということをやっちゃったんだろう」と一番こたえ、許してもらったやさしさもあるから、今度は自分で直していこうと思ったそうです。</p> <p>その子のお母さんに、教科の先生が「担任の先生にも怒られて、私にも怒られて、お母さんにも怒られてしまって、逃げ場がなくなってしまったよね。でも大丈夫よ。私の子どももいろんなことを忘れたけれども、社会に出てしっかりやっているから大丈夫よ」と言ったそうです。そう言われて、お母さんは子どもにやさしくなれる、もっと先のことを見てあげられるようになれると思ったそうです。</p> <p>その子も叱られる意味やしつけということが今はわからなくても、大人になってわかるようになると思います。そうやって家庭も学校もいろいろなことで相乗効果を上げ、家庭は家庭できちんと考えて、学校は学校で先生方がきちんと叱るという連携がうまくとれれば、本当の意味のやさしさが生きると思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ほかによろしいですか。(なし)</p> <p>今まとめていただいた部分もありますので、今日はどういう学校であるべきなのかということも含めた話し合いができたと思います。</p> <p>今日の話し合いをもとに再考し、皆さんに提案させていただきます。学校は、子どもを地域で育てる地域学校というような意識が皆さんにあると感じました。学校と地域が一体となって子どもたちを育てていくという統合校でありたいと思います。その辺はよろしいでしょうか。(異議なし)</p> <p>教育目標、目指す子ども像については、最初は『やさしさ』をキーワードにしました。ただ皆さんの意見をお聞きしている中でやさしさに相対するわけではないけれども、厳しさ、強さ、あるいはたくましさもあるかもしれないと思</p>

	<p>いました。そして、賢くなければやさしくできないとか、自分に余裕がなければやさしくできないとか、相手のことを考えられなければやさしくできないとか、自然あるいはものなどのすべてにおいて愛する気持ちを持つことが必要だとか、道徳心や自愛の思い、自己肯定感とか、生きていくためには自分を律していくことが必要だというたくましさにつながる部分もあるということも出てきたと思います。</p> <p>『やさしさ』を一つの大きなキーワードにし、今度は『強さ』、『たくましさ』もどのように関わってくるかということを含めながら、再度お話をさせていただきます。皆さんからいただいた発言を目指す児童像の具体的な姿としてもう少し出していきたいと思います。</p> <p>ある程度の方向性が決まったら、そういうことができる子どもにしていくためにはどのような形で教育活動を進めていけばいいのかという形の流れになってくると思いますが、その点のご提案を次回させていただくということでもよろしいでしょうか。今日はそれで話をまとめさせていただこうと思いますが、よろしいですか。(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。新しい教育目標については来年度の教育活動にも少し反映していけますね。</p>
副会長	<p>25年度の開校に向けて、24年度中に具体的な計画を立てなければいけません。それを踏まえて今のうちにより教育目標が具体的に決まっていたほうが計画を立てやすいと思います。</p> <p>さっきの交流の話もうちが抱えている問題なので、どうするのかというのは考えなければいけないということもあります。</p>
会長	<p>では次回、教育目標を提案させていただき、皆さんに再度詰めてもらい、つくり上げていこうと思います。</p> <p>今後の予定についてですが、皆さん方から貴重なご意見をいただきましたので、それをもとにしながら再度提案させていただきます。また、実際に学校でこういうことをやったらどうだろうかという話も含めながら進めていこうと思います。</p> <p>そして、9月にはどのように校名を決めていけばいいのかという基本的な考え方についてまずお話をしていきます。あくまでも予定ですが、11月頃をめどに校名の方向性、その後に校歌・校章についての基本的な考えをまとめ、今年度中には校名・校歌・校章の方向性が決まればという予定で進めていこうと思います。</p> <p>これはあくまでも予定ですので、若干ずれ込む可能性もあります。ご了承いただければと思います。では、私からの教育目標案についてはよろしいでしょ</p>

	<p>うか。(異議なし)</p> <p>それでは、続いて(4)既存校舎の改修スケジュールについて、事務局、よろしいでしょうか。</p>
--	---

5 既存校舎の改修スケジュールについて

学校適正配置 担当係長	<p>説明させていただきます。資料5をご覧くださいませ。</p> <p>昨年度、こちらの統合協議会でも、改修の大まかな予定等についてはお話をさせていただいたところです。具体的に23年度予算及び24年度債務負担行為という形で工事の項目について財政的な裏づけがとれました。改めてここで改修の項目・実施時期をご報告させていただきます。</p> <p>まず、普通教室エアコン設置工事ですが23年4月23日から7月11日に実施します。区の方針で、区立の小中学校全校に対してエアコン設置します。当初は夏休みに工事実施の予定でしたが時期が早まりました。23年度は、永福小は夏休みに二つの昇降口の改修工事を予定しています。24年度は非常に盛りだくさんで、本校舎棟の外壁塗装、家庭科室を普通教室に改修する工事、コンピュータ室を家庭科室に改修する工事を実施します。先生の数も25年4月には増えるため職員室の拡張工事も必要です。また少人数教室を印刷室と放送室に改修する工事、外溝工事も行います。25年4月に統合されるわけですが、その年の夏休みに図書室を会議室・少人数教室に対応して、普通教室としても使えるような形にする工事があります。</p> <p>25年には内装工事もあります。この項目はまだ具体的に内容が決定しているわけではありません。ただ、これは25年度予算ですから24年度の夏ごろにどういう形で内装工事をするか決めて、具体的に25年度に臨むということです。改修については以上です。</p>
会長	<p>改修予定等が入りますが、いかがでしょうか。夏休みは工事だらけというような形になりますけれども。</p>
学校適正配置 担当係長	<p>引き続いてよろしいでしょうか。</p> <p>去年の統合協議会で、基本設計等については議論させていただいたところですが、今日は新プール・体育館棟のイメージパースお持ちしました。3月にお話をさせていただいたピオトープも含まれています。図の手前が3階建ての体育館棟。奥に見えるのがラーニングセンターなどのある特別教室棟です。今までお話しさせていただいた中では、ぱっと見てこれが一番イメージしやすいと思います。</p> <p>それから、こちらが参考資料の図面です。今まで何回かこれに類似した図面はお示しをしてきたところですが、最終的な図面です。</p>

	<p>1枚目にありますのが既存の配置図です。</p> <p>2枚目が新プール・体育館棟、外溝を示した平面図。</p> <p>3枚目が体育館と特別教室の部屋の内容の図面になります。</p> <p>4枚目が屋上のプールの図面です。</p> <p>最終ページは東側、校庭側から見た立面図と西側から見た立面図になっています。</p> <p>改築・改修関係については以上です。</p>
会長	<p>わかりました。よろしいでしょうか。(異議なし)</p> <p>それでは、本日の議題についてはすべて終了しましたが、次回このことについては俎上に上げてくださいというようなことはありますでしょうか。特になければ次回の日程を決めて本日は終了したいんですが、よろしいですか。(異議なし)</p> <p>次回ですが、候補をこちらで挙げさせていただきます。</p>
	(日程調整)
会長	では永福南小の視聴覚室で、7月15日の10時です。
学校適正配置 担当係長	<p>私から2点ほど報告させていただきます。昨年10月ごろでしょうか、統合協議会で話題に上った学校開放の問題と、震災救援所運営連絡会の件についてです。</p> <p>まず学校開放ですが、永福小の体育館は7月の夏休み以降に解体工事を始めて、来年の12月に竣工するまでの間使えません。ということは、学校開放の登録団体もその間は永福小では活動できないことになります。4月22日に登録している団体の方すべてにお集まりいただいて、社会教育スポーツ課の学校開放の担当から状況を説明しました。</p> <p>その間、通常はほかの学校にもう一つ登録できるんですけども、さらにほかの学校に登録できるので、申しわけないですが調整をお願いしますという説明をさせていただきました。</p> <p>現在、永福小学校に登録されている団体のうち、永福南小学校でも登録されているのは3団体あります。永福小学校が使えないことに伴って、永福南小学校に新たに登録しそうな団体がさらに二つあります。そうすると、今度は永福南小学校で今活動している団体と調整をとらなくてはいけないのですが、永福南小学校でも25年4月以降になりますと基本的に学校開放はなしという形で今のところ考えていますので、今度は永福南小で時期を見計らい、将来的に学校開放ができなくなるという説明会をさせていただきたいと思います。</p> <p>今回永福小から永福南小に流れてくる団体があるので、永福南小を使っている団体の人たちにしてみると、自分たちの活動が少し圧迫される感があるかも</p>

	<p>しれませんが、将来、永福南小の体育館が使えなくなるときは、逆に永福小を使用するようになるかもしれません。長い目で見て調整をして、よろしく願いしますという意図を持って説明会をさせていただきたいと思います。こちらが報告の1点目。</p> <p>もう一点、震災救援所運営連絡会です。こちらも5月26日に両校の震災救援所運営連絡会の代表のお三方にご出席いただき、区の防災課と25年4月以降の震災救援所運営連絡会をどうしていくのかと話し合いの場を設けます。</p>
会長	では、よろしく願いします。
委員	もし選挙があったら永福小学校の投票所はどうなりますか。
学校適正配置 担当係長	体育館は使えないので、その間は投票所として使えなくなります。
委員	どこで投票をするんですか。
学校適正配置 担当係長	まだ聞いていませんが、選挙管理委員会には昨年からその話はしています。
会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、第10回統合協議会はこれで閉じさせていただきます。どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。</p>